

# 国連NGO横浜国際人権センター・うずしおランチ T-over人権教育研究所・人権こども塾ニュース

板中生とT中生の交流全体学習③ ～平行線で手をつなぐ語り合いの部落問題学習～

板野中学校の生徒たちは次々と挙手し、資料『自分以下を求める心』を読んで感じたことや考えたことを語っていった。マイクを握った生徒一人ひとりが、部落差別の解消を願いながら、自身の思いを自分の言葉で表現した。こうした語りの中には、資料を通して自らの生き方やものの見方を問い直そうとする姿勢や、仲間の発言を受け止めながら考えを深めていこうとする姿が見られた。

そこには、学年・学校全体で語り合う部落問題学習（全体学習）のもつ可能性とよこびを、T中学校の生徒・教職員・保護者にひたむきに伝えようとする姿があった。

## Y・Sの語り「毎日の生活でも、みんなが頑張っていると思ったら、私も精一杯やりたいと思う」

今、S・A君が弱い心で言っていたけど、私も弱い心があると思っています。人間には弱い心も強い心もあるし、それが本当のところかもしれないけど、私自身はそうやって私の心の中には弱い心があるんじゃないかって考えることで、そういう心を許そうとしていたと思います。人間にはそういう心があるから、私にもそういう心があって当たり前で、自分以下を求めたりするのも仕方ないかなあって思って、人を傷つけていたりしたことがあったと思うけど、この前みんなの意見とかを聞いて、それは人間として最低のことで、そんな意識を変えていくのが人間として生きていくことなんだと思うようになりました。毎日の生活でも、みんなが頑張っていると思ったら、私も精一杯やりたいと思うし、やりたいと思うことを実行していきたいし、さっき意見にも出たけど、自分を好きになりたいって思ったし、なかなかそういうことは自分に負けてしまうことがあってできにくいけど、頑張っていきたいと思います。

## C・Kの語り「みんなで話し合っ、もっと自分が出せるようにしていきたい」

私もこの資料を読んで自分のことを見直してみたら、やっぱりまだ全体学習とかで自分の意見を言っているけど、生活には何にも態度に表せてないなと思います。どうしたら態度に表すことができるのかを考えたら、一日一日生活ノートを通して自分を見つめ直したり、人の意見に惑わされない自分をつくって、自分を表現できるようにしていきたいと思います。まだまだ後で何か言われるのが嫌で自分を隠すことがあるけど、そういうところをどうやったら直せるか、みんなで話し合っ、もっと自分が出せるようにしていきたいです。

## C・Tの語り「自分が精一杯力を出している時っていうのは、下の人を求めない」

自分が精一杯力を出している時っていうのは、下の人を求めないで、もっと自分を伸ばそうと思うんやけど、自分で満足できない生活をしている時は、何か自分の中でイライラしてくるから、自分より下って思う人をさがして、そのイライラを押さえようとして、教室で「昨日勉強しなかった」という子がいたら、変やけどその子から元気もらう時があって、そういう時の自分はやっぱり嫌やし、そういう気持ちをなくしていくには、自分が精一杯の生活をしていかなあかんと思います。

## N・Nの語り「自分以下がいるという意識は、自分は有利という自己満足でしかありえない」

自分以下を求める心について、さっきクラスみんなから意見が出たんですが、自分以下を求める心というのは、部落差別や他の差別につながっていくと思います。自分以下がいるという意識は、自分は有利という自己満足でしかありえないし、自分自身の中にも自分以下を求める心があります。その自分以下という心にどうやって打ち勝っていくかということは、自分が好きになることや自分に自信を持つことという意見が出たけど、その通りだと思います。

自分を好きになったり、自分に自信を持つことがどういうことかを少し考えてみると、それは自分に嘘をつかない生き方が大切になってくると思います。僕自身の中にある自分以下を求める心というのは、自分が一番下になるのが怖いというのが、僕の本当の気持ちです。自分が一番下になってバカにされる状況に陥ったら、自分がすごくみじめに思えて、自分自身に自信が持てないという状況になってしまうと思います。他人の生き方をとやかく言わない生き方をしていくのが、やっぱり大切だと思うし、自分自身に自信を持つために、日々の生活というのは、一日一日の授業を精一杯取り組むということが、自分に自信が持てるということにつながります。自分の心の中に卑屈なものがたまるといのは、自分がそのときに友だちに対して嫌な言葉を言ったときに、あまり自分に悪い感情がないとしても、やっぱり自分の中には悪いという感情があるので、それがたまっていて、自分が卑屈になり、自分に自信が持てないということになると思います。少し『自分以下を求める心』からはずれるんですが、部落差別の問題に対して、僕は周りの状況というのは、実態のない世間というもののせいにして、「自分は部落差別をしていない、世間が悪い」と言って、本当は世間というものが言い表せないのに、世間のせいにしてしまうという、世間のせいにして自分を正当化してしまうという状況が多く流れているのではないかと思います。やっぱりそういう問題をクリアしていくためにも、自分に自信が持てる生活をつくりだしていくということがすごく大切だと思います。